

# NEWS LETTER

## 横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL 045-201-8620 FAX 045-201-1620

E-mail: saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp

2011年10月発行 No.45

東日本大震災におきまして被災された方々、ご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

横浜災害ボランティアネットワーク会議では、横浜市からの要請に基づき、平成23年3月24日に横浜市災害ボランティアセンターを設置しました。

### 東日本大震災支援ボランティア活動

～横浜から被災地へエールを～

## 横浜発ボランティアバス



横浜災害ボランティアネットワーク会議と横浜社会福祉協議会との共催として、東日本大震災に伴うボランティア活動支援事業「横浜発ボランティアバス」を実施しました。

この事業は、企業等からの協賛のもと実施され、【横浜信用金庫】【ファイザー株式会社】【株式会社ファンケル】【社会福祉法人秀峰会】が協賛金及び物品提供等の協賛を頂きました。

「横浜発ボランティアバス」は、岩手県釜石市にて、釜石市災害支援ボランティアセンターで受け付けた依頼にもとづき、活動を行いました。

6月29日(水)～7月23日(土)の毎週水曜日夜発の土曜日朝着の計4回、9月2日(金)～11日(月)の毎週金曜日夜発の月曜日朝着の計2回、ボランティアが不足する時期合わせて合計6回実施しました。

延べ参加人数は、スタッフ等の引率者も含めると210名。前半・後半と分けて会員及び一般の方の参加者を募集させて頂き、申込者は計414名。本当に多くの方のお申込み頂きました。

「横浜発ボランティアバス」では、ボランティアを現地に送る以外にも、寄付等で集まったうちわ・ゴム手袋・土のう袋等を釜石市災害支援ボランティアセンターへ届けたり、あざみ野第二小学校で集められた義援物資(歯ブラシ・ティッシュ等)を釜石市内の小佐野小と双葉小に届けました。

次のページでは、計6回のボランティア活動の様子を報告いたします。

ご参加頂いた皆様、そしてご協力頂いた関係機関や企業等の皆様、本当にありがとうございました。

## 横浜発ボランティアバス 活動の様子

### 【桜木町を出発】

夜 10 時に桜木町からバスで釜石市へ



### 【釜石市災害支援ボランティアセンター】

受付をして、必要な道具を借りて活動へ！



### 【第1回の活動】

ガレキの撤去作業・イベントの手伝い等



### 【第2回の活動】

個人宅の草刈り・物資の積み込み等



### 【第3回の活動】

個人宅やグラウンドのガレキ撤去・公園清掃等



### 【第4回の活動】

川原の草刈り・ガレキの分別撤去作業等



### 【第5回の活動】

救援物資を地元の方に渡す「青空市」の手伝い等



### 【第6回の活動】

小学校のグラウンド整備・川原の草刈り等



### 【遠野ふるさと村】

全ての回の宿泊場所です



### 【岩手県北バス】

地元のバス会社で行きました



## それぞれの被災地支援 ～大学・NPOの実践～

### 明治学院大学ボランティアセンター

明治学院大学ボランティアセンター（横浜・白金キャンパス）は、阪神淡路大震災がきっかけとなり出来たボランティアセンターでもあり、今回の東日本大震災では、各大学の中でもいち早く被災地支援を実践された大学ボランティアセンターである。

「Do for smile@東日本プロジェクト」として、様々な被災地支援を現在も継続して取り組んでいる。

そのプロジェクトの1つである岩手県大槌町吉里吉里地区を拠点にした取り組み「吉里吉里復興支援プロジェクト」を紹介する。

大槌町教育委員会から依頼があったことがきっかけとなり、大学という視点を十分に発揮できる【教育支援】から活動は始まった。4月中旬から、小学校・中学校の学校再開支援や保育園の手伝い等の活動を行われ、5月には、下記紹介の「くまヨコ」と連携し、炊き出しやミニ配食会等を行うなど、横浜で活動するメンバーと繋がり活動を行った。

6月・7月には、生活サポートとして[お買い物支援]、施設等での[足浴]等の活動が行われ、8月には、大槌町教育委員会からの要請を受け、中学校の夏休み補習授業の手伝いが行なわれた。

学生の研究や学びを活かした取り組みとして、吉里吉里地区の歴史と復興の歩みをまとめていく[アーカイブ化]そして[吉里吉里語辞典の音声データ化]がある。

これは、地域の歴史や震災の時の様子と復興の歩みや昔から伝わる言葉を住民の方々に話を伺い、情報を後世に受け継げるようにデータ化する作業を学生が行っている。

大学ボラセンと学生達が心がけていた事として活動の入り方であった。もともと、住民の方々には力がある地区であったことから、住民主体の復興を側面的にサポートすることであり、地域の力を残す取り組み方を大切にしていくことがポイントであった。

【地域には静かに入り、足音をたてないぐらいで活動する】、この意識のもと中長期での関わりを念頭に活動してきた事が、吉里吉里地区での関係作りに繋がり、住民と一体となった取り組みに繋がっている。

【明治学院大学ボランティアセンターHP】

<http://voluntee.meijigakuin.ac.jp/>



【中学生への補習授業の手伝い】



【お茶っ子サロンにてお手伝い】

### くらしまちづくりネットワーク横浜 通称くまヨコ

くらしまちづくりネットワーク横浜～東日本大震災復興支援プロジェクト～（通称くまヨコ、以下【くまヨコ】と記載）とは、主に横浜市及び神奈川県にて、人々のくらしやまちづくりを支える活動をする24のNPO法人、社会企業、中間支援機関等で構成されたネットワーク団体である。

東日本大震災に対して、日頃の活動で培ってきたノウハウやネットワークを活かし、被災地で暮らしている方々に寄り添った取り組みを行うとともに、そこでの経験を横浜で活かすことを目的として活動している。人とのつながりにより岩手県大槌町にて5月～9月までに計5回の活動が行われた。ここでは、9月17日（土）～20日（火）までの第5回目の活動を紹介する。



白熱！大型将棋【縁日の様子】

大槌町和野橋（わのぼし）地区の仮設住宅内の集会所にて、「みんなの和野縁日」が18日に開催された。そこでは、地元の方々による、おでんづくりとその配布、地元の商店による駄菓子と飲み物の出張販売、大型の将棋盤（左写真）やおセロ盤をつかった対局、AED救命救急法のレクチャー、鍼灸マッサージや横浜のミュー

ジションによるミニコンサート等が行われた。この縁日を行うにあたり、地元のお母さん方が周知や当日の運営を担った。料理のメニューも地元の協力者を介し、聞き取りを行い、決定するなど、今までとは異なり、住民主体の取組みが徐々に動きを見せてきている。【くまヨコ】では、今回の縁日のようなイベント実施のコツや住民のたすけあいを行うボランティアの組織化について、後押しをする形でノウハウを提供する機会となった。

また、横浜で植栽を通じたボランティア機会提供を行う団体中心に縁日に協力した商店のプレハブ店舗（下記写真）にプランターを設置し、温かい雰囲気演出。実は、この店舗周辺は建物の土台のみが残っているという甚大な津波の被害があった場所であった。しかしこの商店は、地元住民が集う「憩いの場」でもあり、また、安否や所在地を確認する情報交換の場ともなっている所で、地元でも大切な場所となっている。

【くまヨコ】として大切にしているポイントとして、「コミュニティづくり」「居場所づくり」を地元住民が主体となり取り組み、【くまヨコ】としてその下支えを行い、「つながり」のきっかけづくりや【くまヨコ】のメンバーがこれまで培ってきたネットワークの強み・ノウハウ等を活かしていく。そして、そうした活動の経験をこの横浜に還元していただく大きなポイントとなっている。

今後の【くまヨコ】としては、縁日等に協力をしていただいているお母さん方が中心となったボランティアグループの立ち上げ支援に伴う雇用の創出、地元経済の活性化支援や、縁日でも大好評であったAED講習会を【くまヨコ】のメンバーが講師となり実施される予定など、継続的にこの地域に関わり、住民に寄り添った取り組みが進められる。

上記紹介の明治学院大学とともに、同じ地区に継続して関わる中で信頼感が生まれ、地元と協働した取り組みが実践されている。



【地元の「憩いの場」の商店】

**【くまよこ連絡先】 事務局：横浜市市民活動センター内 電話：045-223-2666**  
くまよこブログ <http://blog.canpan.info/kumayoko>

## 会費納入者（平成23年4月～平成23年9月まで）

財団法人 横浜YMCA／財団法人 横浜YWCA／神奈川県生活協同組合連合会／社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会／横浜商工会議所／横浜市町内会連合会事務局／横浜市子ども会連絡協議会／ガールスカウト横浜市連絡協議会／横浜市県民少年団／財団法人 横浜市男女共同参画推進協会／横浜市民生委員児童委員協議会／財団法人 横浜市老人クラブ連合会／社団法人 横浜市身体障害者団体連合会／社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団／横浜市体育指導委員連絡協議会／生活協同組合コープかながわ／全日本海員生活協同組合／横浜国立大学生生活協同組合／全労済神奈川県本部／レクダンス研究会「赤いくつ」／フェリス学院大学 ボランティアセンター／社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市西区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会／社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会／横浜市青葉国際交流ラウンジ／特定非営利活動法人 あしほ／港北区災害ボランティア連絡会／NPO法人保土ヶ谷区国際交流の会／公益財団法人 よこはまユース／金沢区災害ボランティアネットワーク／緑区防災ネットワーク委員会／横浜栄・防災ボランティアネットワーク／磯子区災害ボランティアネットワーク／保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク／瀬谷区災害ボランティアネットワーク／とつか災害救済活動ネットワーク／西区災害ボランティアネットワーク／港南区災害ボランティア連絡会 【個人会員】11名



横浜災害ボランティアネットワーク会議は、皆さんの会費で支えられています。  
ご協力ありがとうございます。